

NEWS RELEASE



平成 21 年 5 月 27 日 14 時 資料配布

配布先
神戸海運記者クラブ 神戸市政記者クラブ 淡路島内各報道機関

この件に関するお問い合わせ先
神戸運輸監理部総務企画部企画課（企画観光室） （担当）塚本（室長） 今村（副室長） 西尾（企画担当係長） （電話）078-321-3144

“たこフェリー” 利用促進プロジェクト！

～フェリー利用促進を目指して、調査事業を開始～

神戸運輸監理部は、明石海峡航路（明石港・岩屋港間）のフェリー利用促進を図るため、公共交通活性化総合プログラムを活用して、地域関係者とともに委員会を立ち上げ、以下の視点で調査を実施し、周辺地域の魅力と組み合わせたフェリーの利用促進を目指します。

明石海峡大橋を通行できない 125CC 以下のバイク・自転車によるツーリング観光 周遊クルーズによる観光 等

国内のフェリー事業は、昨年来の国内景気の低迷や本年 3 月からの高速道路料金の大幅な割引・引下げの実施により、経営環境は厳しさを増しています。

明石海峡大橋の直下を運航する明石淡路フェリー(株)（愛称：たこフェリー）も、大きな影響を受けており、事業者においては、これまで高速道路料金を意識した経営努力と輸送量アップに努めてきましたが、度重なる高速道路料金の引下げにより、輸送量への影響が懸念される状況となっています。また、この航路は通勤・通学者も利用する重要な地域交通を担う航路でありながら、国の航路補助対象となる離島単独航路ではないため、直接的な支援を受けることは困難な状況です。

そのため、**観光による交流人口を増やすために、このプロジェクトを実施します。**

委員会名：観光による明石海峡航路のフェリー利用促進方策調査検討委員会

開催日時：平成 21 年 5 月 29 日（金）9：30～

場 所：サンピア明石 2F 会議室 B（明石市相生町 2 - 9 - 20）

J R・山電明石駅から南東へ徒歩約 10 分

委 員：別添のとおり

報道関係者の皆様へ

会場設営の都合により、当日取材する場合は、5月28日（木）12時までに神戸運輸監理部総務企画部企画課までご連絡下さい。

連絡先 078-321-3144（直通） 西尾

公共交通活性化総合プログラム（以下「活プロ」という）は「地域公共交通に関する様々な課題に対して地域の関係者が中心となって地域公共交通に関する課題について合意形成を図り、課題解決を図るための具体的方策を策定するもの」で、全国の運輸局が管轄区域内で実施する事業。

観光による明石海峡航路のフェリー利用促進方策 調査検討委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

森 隆行	流通科学大学商学部教授
國安 亜津志	明石淡路フェリー(株)営業部次長
小西 敏敬	明石市産業振興部観光振興課長
岩本 喜文	淡路市産業振興部観光政策課長
白髭 康治	明石観光協会事務局長
中谷 善行	淡路市観光協会事務局長
大町 聡	(株)神戸新聞社デジタル情報部長
加藤 栄	神戸運輸監理部総務企画部海事交通計画調整官
石定 正則	神戸運輸監理部海事振興部旅客課長

(事務局)

国土交通省神戸運輸監理部総務企画部企画課